

第1回「みやぎ農福連携推進ネットワーク会議」のご案内

宮城県では、県内の農福連携の定着と発展に向け、平成30年に「みやぎ農福連携推進ネットワーク」を設置し、現在、農業者、福祉事業者、行政機関・支援団体等140以上の団体が加入しております。

今回の「みやぎ農福連携推進ネットワーク会議」では、農福連携で年間で延べ5,000名以上の障がい者が農業分野で活躍している福島県における農福連携のマッチングの仕組み、及び農福連携に取り組む初期と発展期の事例を紹介し、農福連携の成功のポイントを理解いただくとともに、ご参加者の皆様の課題解決に活用して頂きます。

農福連携にこれから取り組みたい、また現在の取組をさらに発展させたいと考える農業者・福祉事業者の皆様、及び地域で農福連携を強く推進したいと考える行政機関・支援団体の皆様のご参加をお待ちしています。

【内容】

■日程：令和5年10月6日（金）13:00～15:00

■会場：INTILAQ 東北イノベーションセンター 1階クラスルーム

（仙台市若林区卸町2-9-1） ※詳しくは裏面を参照。

■募集人数 会場20名／オンライン20名

■次第

13:00～13:10 開会・主催者挨拶（宮城県農政部農業振興課）

13:10～14:30 講演「福島県の農福連携マッチングの仕組みと先進事例・好事例の紹介」

講師：福島県授産事業振興会 統括マネージャー農福連携コーディネーター 渡部栄昭氏

14:30～14:55

質疑応答・意見交換会「農福連携に取り組む上での課題解決に向けて」

アドバイザー 福島県授産事業振興会 渡部栄昭氏

アドバイザー NPO法人みやぎセルフ協働受注センター 事務局次長 格井さえ子氏

コーディネーター 株式会社プロジェクト地域活性 代表取締役社長 望月孝

14:55～15:00 閉会・アンケート記入

■講師 【福島県授産事業振興会 統括マネージャー 農福連携コーディネーター 渡部栄昭氏】



福島県会津・猪苗代町にて、家族とともに農業に従事、地域コミュニティーの一員としてその維持に努める傍ら、平成26年度より福島県授産事業振興会のスタッフとして東日本大震災以降、福祉作業所の抱える様々な課題解消のための支援に携わる。平成28年度より「農福連携コーディネーター」として農家の視点を生かし、福祉作業所と農家の作業マッチングを中心に、アドバイザーの派遣、農福連携事業の推進のため研修会の開催、6次化製品の企画・開発の支援、農福マルシェの企画・販売支援を行うなど、福祉作業所に通所する、障がい者の工賃向上のため支援の役割を担う。

また、6次化製品の企画・開発支援に関しては平成31年度よりS3ブランディング代表の川田勝也氏の提唱する共通ブランド『ジャパンフーズプロジェクト』に参画し、福島県の福祉作業所が生産・販売する6次化商品の共通ブランド『福島フーズプロジェクト』の立ち上げに携わる。商品開発と販売強化のための支援を通して、地域と福祉作業所の抱える課題解決に向けた取り組みを行っている。

■会場のご案内

INTILAQ 東北イノベーションセンター（住所：仙台市若林区卸町 2-9-1）

*仙台市営地下鉄東西線「卸町駅」下車 北1 出口より徒歩 5 分

*お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用願います。



■申込方法、締切日

申込期限 令和 5 年 10 月 3 日（火）17 時 ※期日前でも定員になり次第、締め切ります。

お申し込みは、google フォーム（下記 URL、右記 QR コード）

<https://forms.gle/X1Gnc5kPT5vsK8QM7>



または下記【お申込・お問い合わせ先】まで E メールか FAX で下記の事項をご連絡ください。

①氏名(ふりがな) ②所属法人・団体等 ③役職 ④電話番号 ⑤E メール ⑥参加方法(会場・オンライン)

■お申込・問い合わせ先等

主催：宮城県農政部農業振興課

*この事業は宮城県が株式会社プロジェクト地域活性に委託して実施するものです。

株式会社プロジェクト地域活性 担当：沼澤・伊藤（宮城県からの事業受託者）

〒984-0015 仙台市若林区卸町 2-9-1 INTILAQ 東北イノベーションセンター

TEL：022-349-4891 FAX：022-349-4892 Eメール：noufuku@prokatu.jp

■申込書

所属法人・団体等	
氏名・役職	
連絡先（電話番号・Eメール）	TEL Eメール
参加方法	会場・オンライン